

品質工学 (タグチメソッド)

—市場品質を事前に確保するための技術開発の進め方—

製造業では、ユーザーのニーズにマッチした魅力的な製品を生み出すと同時に、低コストでクレームの出ない安定した設計・製造技術を実現することも大きな課題です。

品質工学は、田口玄一博士が提唱した日本発の手法であることから「**タグチメソッド**」とも呼ばれていますが、将来起こるかもしれないトラブルを未然に防いで、製品が引き起こす様々な損失を最小化することを目的とする汎用性の高い技術的方法論です。

様々な技術分野や開発プロセスで活用され、安定した設計・製造技術を効率よく開発する考え方と手法として大きな成果をあげています。

ユーザーは、自分が購入した製品はどのような環境であっても、いつもちゃんと機能することを期待していますが、実際に市場に出た製品はとても多様な環境や条件で使用されています。

メーカーは、いろいろなテストで膨大な時間をかけて製品の動作を確認していますが、現実には機能を損なう要因が複雑に組み合わせられることも多く、すべての条件を検証することはまず不可能です。

品質工学では、環境や劣化など機能を乱す要因を「ノイズ」として、これらの「ノイズ」の組み合わせに対して頑健な（「ロバスト」な）設計パラメータの組み合わせを効率よく見つけるための考え方・手法を提案しています。

講演会の御案内

「何のためにタグチメソッドを実践するのか？」

平成22年度中小企業ものづくり技術スキルアップ研修（汎用技術開発講座：タグチメソッド）

タグチメソッドは、1990年頃から導入する企業が増え始め、現在では多くのメーカーの方が「名前くらいは聞いたことがある」とか「うちは導入していますよ」と言われます。

では、何のために導入されているのでしょうか？

本セミナーでは、タグチメソッドがもたらす効用、導入することによって「**良い品質になる理由**」、「**安くできる理由**」、「**効率化が図れる理由**」の概要を明快に解説します。

真の効率化を図るためには、タグチメソッドの考え方を理解し、実践できる技術者の育成は必須です。

これから導入を検討されている企業の方、すでに導入しているが期待した効果が出ていない企業の方、もう一度しっかり概要を理解したい方にぜひご参加をお勧めします。

《対象》 研究技術開発、商品開発、生産技術、開発効率推進、品質管理、品質保証部門、関連部門の**推進／管理責任者・担当技術者**

1. 日 時：平成22年5月27日（木）13時15分から16時45分

2. 場 所：第1会場 京都府産業支援センター 5階研修室

第2会場 北部産業技術支援センター・綾部（ハイビジョン会議システムによる遠隔セミナー）

3. 講 師：有限会社アイテックインターナショナル 副社長 中野 恵司 様

4. 参加料：無料

5. 定 員：60名

この講座は緊急雇用安定助成金制度等の対象となる教育訓練としても活用できます。

＜注意事項＞◆**国の助成金を受ける場合、ハローワークに休業届等の事前手続きが必要です。**この研修に申し込むだけでは助成金を受けられません。

◆主催者との職業訓練委託契約書等の書類がハローワークへの事前申請の際に必要となります。あらかじめ、主催者と職業訓練委託契約の締結をお願いします。

まずは、お住まいのハローワークへお問い合わせください。

平成22年度品質工学研究会の御案内

京都府中小企業技術センターでは、平成7年から京都品質工学研究会を開設し、企業における品質工学の適用事例についての発表、相談や意見交換を通じて、会員の技術開発力の向上を支援しています。

近日中に会員募集を開始します。

◇主な活動内容(6月から開始予定)

- ・定例会 主に会員の適用事例をテーマとした討論及び相談指導
- ・講演会 先進企業の推進者等を講師に迎え、組織的な取組みへつながらる講演会
- ・学習会 品質工学の基礎を学ぶ勉強会やMTシステム、機能性評価など個別テーマの演習
- ・公開セミナー 品質工学の基本的な考え方を理解できる一般向け講習会

【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター
基盤技術課 機械設計・加工担当

TEL: 075-315-8633 FAX: 075-315-9497

E-mail: kiban@mtc.pref.kyoto.lg.jp